

# 船舶事故調査報告書

令和6年12月18日

運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故種類	衝突
発生日時	令和6年3月1日 17時40分ごろ
発生場所	福山港 神島外港2号防波堤灯台から真方位280° 4.8海里（M）付近 （概位 北緯34° 27.8′ 東経133° 24.9′）
事故の概要	貨物船BRIGHT CORALは、着岸操船中、着岸中の貨物船GLOBAL CORALに衝突した。
事故調査の経過	令和6年3月12日、主管調査官（広島事務所）を指名 原因関係者から意見聴取手続実施済
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等	A 貨物船 GLOBAL CORAL（パナマ共和国籍）、27,460トン 9687746（IMO番号）、OCEAN TRANSIT CARRIER S.A. B 貨物船 BRIGHT CORAL（パナマ共和国籍）、9,965トン 9754989（IMO番号）、DAWN SHIPPING, S.A.
乗組員等に関する情報	A 船長A（フィリピン共和国籍）、 締約国資格受有者承認証 船長（パナマ共和国発給） B 船長B（フィリピン共和国籍）、 締約国資格受有者承認証 船長（パナマ共和国発給）
負傷者	なし
損傷	A 左舷中央部手すりに曲損 B 左舷船首部手すりに曲損、船体中央部外板に擦過傷
気象・海象	気象：天気 曇り、風向 北西、風速 約4～5m/s、最大瞬間風速 北西約9～10m/s、視界 良好 海象：波高 約0.5～0.7m、潮汐 下げ潮の末期 福山市には、3月1日07時04分に強風注意報及び波浪注意報が 発表され、本事故当時も継続中であつた。
事故の経過	A 船は、船長Aほか20人（全員フィリピン共和国籍）が乗り組み、岸壁に船首を北方に向けて入船右舷着けで着岸していたところ、左舷船体中央部にB船の左舷船首部が衝突した。 B 船は、船長Bほか17人（全員フィリピン共和国籍）が乗り組み、船長Bが操船指揮をとり、航海士を見張りに、また、甲板手を操舵に当たらせ、岸壁に船首を南方に向けて出船左舷着けする目的で、福山港C地区の錨地を抜錨して着岸予定岸壁前面海域まで移動した。 B 船は、A 船の着岸場所を通過し、着岸予定地近くに到着した際、着岸予定地の北方には小型船舶がおり、更に北上して回頭することは難しかったので、船長Bはその場で回頭しようと考え、タグボートで右舷船尾を押させ、主機を使用して右回頭した後、岸壁への接近を開

始した。

船長Bは、北西方からの風の影響により、B船の船尾部が岸壁と約50mまで接近したので、主機を前進とし、左舵を取り、タグボートに右舷船尾を西方に引かせてB船の船尾を岸壁から離れた。

B船は、A船の左舷に接近したので、主機を後進としたが、北西方からの風により南東方に圧流され、A船に衝突した。(図1参照)

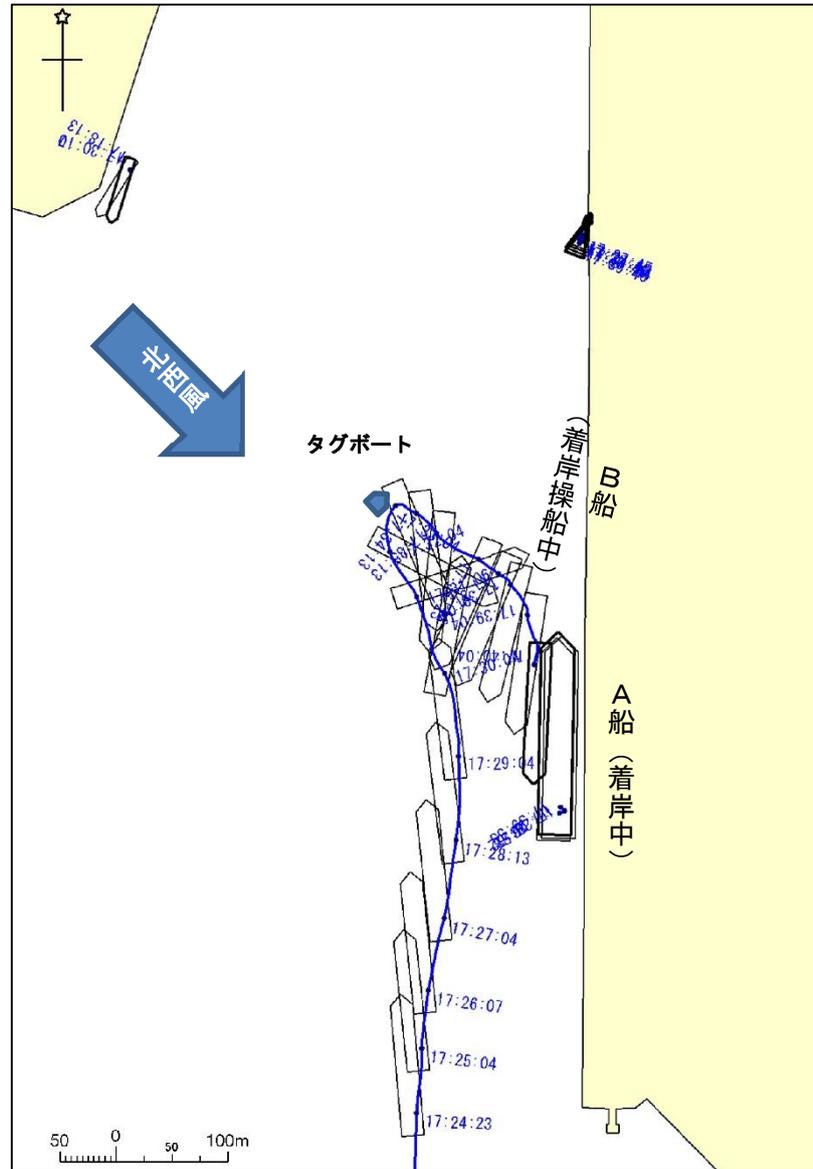


図1 事故発生状況概略図

分析

A船は、着岸中、B船が衝突したものと推定される。

B船は、着岸操船中、船長Bが、右舷方から北西の風を受ける状況下で風の影響を適切に考慮しないまま回頭したことから、A船から離れようと主機を後進としたものの、そのまま南東方に圧流され、A船に衝突したものと考えられる。

船長Bは、着岸操船中、岸壁に船尾が接触するのを避けるため、機関を前進運転としたことから、船首方にいたA船に接近したものと考えられる。

<b>原因</b>	本事故は、B船が着岸操船中、船長Bが、右舷方から北西の風を受ける状況下で風の影響を適切に考慮しないまま回頭したため、A船から離れようと主機を後進としたものの、そのまま南東方に圧流され、A船に衝突したものと考えられる。
<b>再発防止策</b>	今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。 <ul style="list-style-type: none"><li>・ 船長は、着岸操船中、風の影響で安全な操船が困難であると判断した場合、直ちに着岸を中止し、風が落ち着いてから着岸すること。</li></ul>